

編集後記

▼先月行われた正行寺修復事業講演会は、驚きの連続でした。一つ目の驚きは、移築の工期の短さ。上棟までわずか五日、竣工まで半年と、当時多くの町民が協力して建てたことが想像できます。二つ目の驚きは、修復を終えた本堂。ふすまなどが細部にわたり見事に修復されていました。道東唯一の重要文化財の建造物正行寺本堂。皆さんも是非ご覧になってみてはいかがでしょうか。(内柴)

▼先月、役場町民ホールで絵画展「役場は小さな美術館」を開催しましたが、皆さんはご覧になりましたか。絵画を通して観る厚岸町の風景も素敵ですね。▼町民文化祭芸能発表では、見応えのあるステージが目白押しでした。カメラのファインダーからシャッターチャンスを狙っていると、見入ってしまうほどでした。出演した皆さんお疲れさまでした。(大門)

▼相変わらず道路沿いはシカ・しか・鹿。ここはサファリパークでは?と目を疑ってしまう。しかも車が近づいても逃げようとしません。いったいどうしたものか…。とにかく安全運転するしかないのですかねえ。▼今年も残りわずかです。皆さんも体調くずさず、元気に過ごしてください。(田崎)

ひとのうごき

●人口/11,175人 (+11)
男/ 5,327人 (+10)
女/ 5,848人 (+1)

●世帯/4,440世帯 (-1)

●出生/ 8人 ●転入/36人

●死亡/12人 ●転出/21人

●外国人/94人 88世帯

10月31日現在()内は前月比

■発行/厚岸町
■編集/総務課広報情報係

〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <http://info.town.akkeshi.hokkaido.jp>
携帯電話 <http://203.180.48.2>
E-mail akkeshi@pop2.marimo.or.jp

生きる力

(今月のタイトルは厚岸小学校教諭の齋藤則康先生が書きました)

町内小・中学校をリレーで紹介

学習指導要領の理念である『生きる力』
この『生きる力』をはぐくむため
学校ではさまざまな取り組みをおこなっています

第3回 厚岸町立厚岸小学校

『あすなる学習』～総合的な学習の時間～

学校教育目標『たくましい子、自ら考える子、心豊かな子』の実現のためには、学ぶ対象に対して、それぞれが思いや願いをもつことが求められます。思いや願いをもつことで、対象と深くかわり合い、知りたい調べたいといった主体的な学びを拡げていきます。厚岸町の素晴らしい地域素材は魅力的であり、子どもの生き方に示唆を与えてくれます。

厚岸小学校では、1、2年生の先生も含む全員の先生が2ブロックに分かれ、一緒に地域をテーマにした『あすなる学習』の単元作りを実践しています。

3年生「厚岸町の昔たんけんたい」
4年生「わたしたちのお気に入り」
5年生「すごい厚岸!発見隊」
6年生「ふれあいチャレンジ!」

今回は『こう福祉21』でも発表した6年生の学習の様子を紹介します。

【車椅子体験・目隠し体験から】

●中村ほか「車椅子体験では、大変か、その気持ちがわかりました。私の将来の夢は介護士です。介護士になれたらいろんな人の役に立てたいなと思います」

●濱野駿「車椅子は乗ったことが無く、一人だったら坂がきついし、段差もきついと思います。でも、後ろを押してくれる人がいれば、坂でも段差でも、少しは楽だと思いました。おじいちゃんや、おばあちゃんを押すときは、ゆっくり押さないと危ないと思いました」



●埴見ひなの「もし押す人がいなくてデコボコ道にはまったら、とても大変だなと思いました。この体験をして、車椅子の人の大変さがわかりました」

●博田華代「目隠し体験でアイマスクを付けたとき、本当に何も見えなくて、階段が一番怖かったです。どこにいるか全然わかりません」

した。水を飲むのも大変でした。目が見えない人は、相手を信用しないと歩けないと思います。目隠し体験を通して、目が見えない人の大変さがわかりました。アイマスクを付けている人のことを考えながら歩かせるのが、とても大変でした。補助をする人の大変さもわかりました」



6年生は、これまでに『一年生祭り』を開き、小さい子とのふれ合いをしてきました。この後は、学校の外にも目を向け、お年寄りとの交流も考えています。これらのふれ合い活動を通して、多くのことを学んでくれることと思っています。